



国立市教育委員会指定 コミュニティ・スクール

国立市立国立第四小学校

令和8年3月23日

地域学校協働活動推進員

日吉 友里奈

地域学校協働活動推進本部だより

合言葉「夢いっぱい 感動いっぱい チャレンジいっぱい 国立第四小学校」

令和7年度 第4回地域学校協働活動推進本部会を開催しましたので、概要を報告します。

開催日時 : 令和8年3月18日(水) 9:00~9:45

会場 : 国立第四小学校 校長室

出席者 : 校長: 牧野陽一郎 副校長: 清原周栄 本校職員: 角田陽洋

地域学校協働活動推進員: 日吉友里奈

◇ 第4回地域学校協働活動推進本部会の概要

令和8年3月18日(木)、国立第四小学校第4回地域学校協働活動推進本部会を校長室にて、3学期の活動の振り返りと来年度の取組内容やボランティア募集について打ち合わせを行いました。

◇ 活動報告(成果と課題)について

【成果】

- ・CS(コミュニティ・スクール)2年目の成果: PTA活動から移行した「本の読み聞かせ」や、スポーツテスト、地域安全マップ作りなどの活動が円滑に実施された。
- ・ボランティア精神の醸成: 読み聞かせにおいて、子どもや教員からの好評を受け、ボランティア側からも「またやりたい」という自発的な声が上がったことは大きな収穫である。
- ・本の読み聞かせ: ボランティア自身が工夫を凝らし、家庭内でのコミュニケーションにもつながるなど、質の高い活動となった。

【課題】

- ・3年目に向けて、「やらされる活動」ではなく、必要感に基づいた自然な活動として定着・発展させていきたい。
- ・学校公開の受付ボランティア: 固定の協力者に頼っている現状があり、人手不足が課題。授業参観とボランティアを両立できる体制づくりのため、地域住民や卒業生の保護者への声かけを強化する。

◇ 来年度のボランティア募集について

- ・継続確認と新規募集: 3月末までに現ボランティアの継続意思を確認。4月の保護者会にて推進委員を中心に新規募集を行う。
- ・広報活動: 学校公開時に活動の様子を伝える掲示物(写真活用)を作成し、認知度を高める。
- ・若年層の活用: 大学進学予定の卒業生(3~4名)が登録見込み。就職活動におけるボランティア証明の発行などするなど大学生の協力を仰ぐ。
- ・対象活動の検討: 体力テスト、地域安全マップ、道徳授業地区公開講座の受付検討など。

◇ 地域連携と組織のあり方

- ・受付の目的再定義: 玄関受付は単なる記名ではなく「安全管理(不審者対策)」が主目的であることを周知し、協力の必要性を共有する。
- ・校外学習(引率)の考え方: 保護者の協力は心強いが、子どもの自立心や危険予知能力を養う観点から、過剰な介入にならないよう「適切な距離感」を考慮する。
- ・地域行事との連携: 「ふれあい祭り」や「地区文化祭」等への協力については、主催者(町会等)の意向を尊重しつつ、地域学校協働活動としての関わり方を慎重に模索する。